



【あや流相場分析】企画 <第2回目>

あや

著作権について

本レポートは著作権法で保護される著作物です。

取扱いについては以下の点にご注意してください。

本レポートの著作権はあやにあります。著作権者の書面による事前許可なく、本レポートの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段(紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等)により、複製、流用、および転載、オークションなどでの転売をすることを禁じます。著作権侵害を行った場合は、5年以下の懲役または500万円以下の罰金に処せられます。

(著作権法119条)

著作権法に違反した場合は、流出元が特定できるようになっておりますので十分ご注意ください。

使用許諾契約書

第3条(契約の解除)

乙により甲が本契約に違反したと判断された場合、乙は何の通告もなく使用許諾契約を解除できるものとします。

第4条(損害賠償)

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除にかかわらず、甲は乙に対する違約金として違反件数を10万円を乗じた金額を支払うものとします。またインターネットでの公開等により、違反件数を特定できない場合は、一律500万円を甲は乙に対して支払うものとします。

第5条(責任の範囲)

本レポートに記載の内容はその正確性を乙が保証するものではありません。実際の運用および投資にあたっては投資者である甲自身の責任において行なうものとします。万一、本レポートに記載の方法に従って甲が投資を行ない損害が発生しても、損失金額の補填および弁済その他一切の責任を乙は負わないものとします。

このPDFは【トレ教2】の一部抜粋したものです

【トレ教2】の全コンテンツのうちの第2回193ページのうちの一部分を抜粋したのになります。
実際は、第1回(章)～第8回(章)の構成になっており

- ・ワンポイントレッスン
- ・動画コンテンツ
- ・PDF

をお渡しします。

この試し読みのPDFを見ていただいて、【トレ教2】のイメージがつかめればと思います。



講義内容

<第2回目>

- 1 環境認識とは
- 2 どうやって環境認識をするのか
- 3 水平線による相場分析法（1）
- 4 トレンドラインはどう使うのか
- 5 ボリンジャーバンドはどう使うのか
- 6 今日の課題

1 環境認識とは

2 どうやって環境認識をするのか

3 水平線による相場分析法（1）

4 トレンドラインはどう使うのか

5 ボリンジャーバンドはどう使うのか

6 今日の課題

講義内容

<第2回目>

チャート上の環境認識

環境認識の 種類

トレードをする上で必要な環境認識

(1) 自分の環境認識

(2) チャート上の環境認識 ←



チャートを最適化する

チャート上の 環境認識

インジケータ

- ・過去のデータを視覚化するのに便利
- ・後付け

チャート上の 環境認識

チャートを最適化する

- ごちゃごちゃしていませんか？

インジケータは2つまで



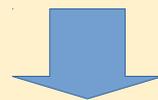
トレードの課題

①優位性

「環境認識」で見つける

②再現性

- ・いつも同じパターンでも良い
- ・再現性あるトレードをまずは1つ、できるようにする（鉄板パターン）



自信・進化 へ

再現性と優位性とは

優位性とは、
他のものより上位にあったり優れた部分や優れた性質があることです。
(同義としては、エッジがある・有利であるなど)

FXにおける優位性を考えてみると為替差益の利益を得ることが目的なので、
市場の中の需給のバランスが崩れる場面が優位性のある場面といえます。

さらにその初動場面は利益の最大化につながる為、最も優位性のある場面ともいえます。
(トレンド転換・サポレジ転換場面)

なぜなら需給のバランスが保たれているならばレートはほとんど動かず(レンジ)、
為替差益を得ることが難しいからです。

再現性と優位性とは

優位性とは、需給のバランスという合理性を考えた場合、時間経過とともに必ず無くなります。

需要 > 供給の儲かる場面は参入が一気に増え、一定時間経過後には需要 = 供給 ⇒ 需要 < 供給となり、速度が落ちて参入も無くなるからです。
(高値切り下げ・安値切り上げ・ダウ崩れ、バンドワゴン効果など)

そのため、FXにおけるトレードとは、不確実な相場の中にわずかに存在する優位性のある極めて為替差益の収益をあげやすい場面(特に初動場面)においてポジション取りからその優位性が薄れる前までの一定期間内で利益を確定させる行為ということになります。

再現性と優位性とは

さらにトレーダーとして収益を出し続けるということは常にその優位性のある場面でのトレードを強固に確保し続けるということです。

そのために必要となるのが相場分析・環境認識です。これを行うことによって不確実な相場における、一時的に需給のバランスが崩れる優位性のある場面を（ロング勢またはショート勢のどちらかが撤退する場面）

複数の根拠（根拠が多い＝高確率となる）から見つけ出す事が可能となるからです。

※
エントリー（手法）とは、優位性のある場面においてその初動の出来るだけ有利なレートでポジションがとれるように単にタイミングをはかるだけの行為です。

環境認識とは

環境認識とは

- ・今みている相場がどういう状況なのかを把握するもの

環境認識と 手法の違い

■ 環境認識

チャート全体から相場状況を読み取り、
優位性がある場所を読み解く為のもの

■ 手法

エントリータイミングを計る為のもの

環境認識とは

今みている相場がどういう状況なのかを 把握するもの

- ・シナリオ構築して、トレードする為
- ・どういう流れの中にいるのか？
- ・大きな時間軸から順に今の相場の環境を分析

その場のローソク足の勢いや期待感だけで
エントリーしていませんか？

環境認識とは
シナリオを構
築してトレー
ドする為

トレードにおけるシナリオ構築

相場は常に変化をし続けるため
大事なものは

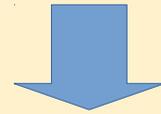
- (1) シナリオを複数持っておくこと
- (2) 一度決めたシナリオが崩れたら
すぐに再構築をすること

シナリオを固定してしまわないのではなく
変化し続けている相場に合わせてついていく

環境認識とは

なぜ環境認識をするのか？

チャート全体から**優位性**がある場所を
読み解くため



「今すぐレートが上がるのか？下がるのか？」
を予想するものではない

環境認識とは

環境認識力の精度が上がると…

- ・ 勝率が高い場面や負けやすい場面、よく分からない場面が分かるようになる



勝てる場面だけでトレードをして、よく分からない場面や負けやすい場面はやらないようにするという**取捨選択**ができるようになる

環境認識とは

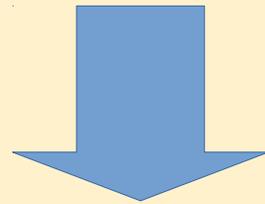
環境認識力の精度が上がると…

- 現在の環境に合わせた戦術を打てるようになる



必然的に成績は上がり、資金は増える

「これで負けたら仕方がない」
というレベルまで持っていくのが



環境認識



その為に・・・環境認識を

**無意識レベルまで
習慣化させる**



環境認識とは

トレードで重要なのは

- 大きな相場の流れ
(トレンドの有無とその方向)
- そこに現れる集団心理

環境認識とは

「チャートパターンが出たから売り・買い」

そんなのでは勝てない

※本質を理解しておかないと、テクニックだけではキツイ
本質がベースにあって、その上にテクニックが乗っている
ベースがしっかりあることによってテクニックの効果が出てくる

環境認識とは

理由は

「チャートパターンだけでは
優位性に乏しい」から

環境認識とは

チャートパターンだけでは 優位性に乏しい

- 執行足は同じ波形に見えても、
環境状態は全く一緒ではないから



環境認識とは

そのチャートパターンが どこで出たのか？が大事

- どの波のどの部分にそのチャートパターンが出たのかの背景が重要
- 過去にどういう流れをしてきた中で、どのように機能してきたのかという動きを見て、短期足でその意味のある場所でサイン（チャートパターン）を待つならOK
- チャートパターンの出た場所に意味があるのかが重要（チャートパターンはどこでも出現する）
- 天井圏・底値圏も意識する



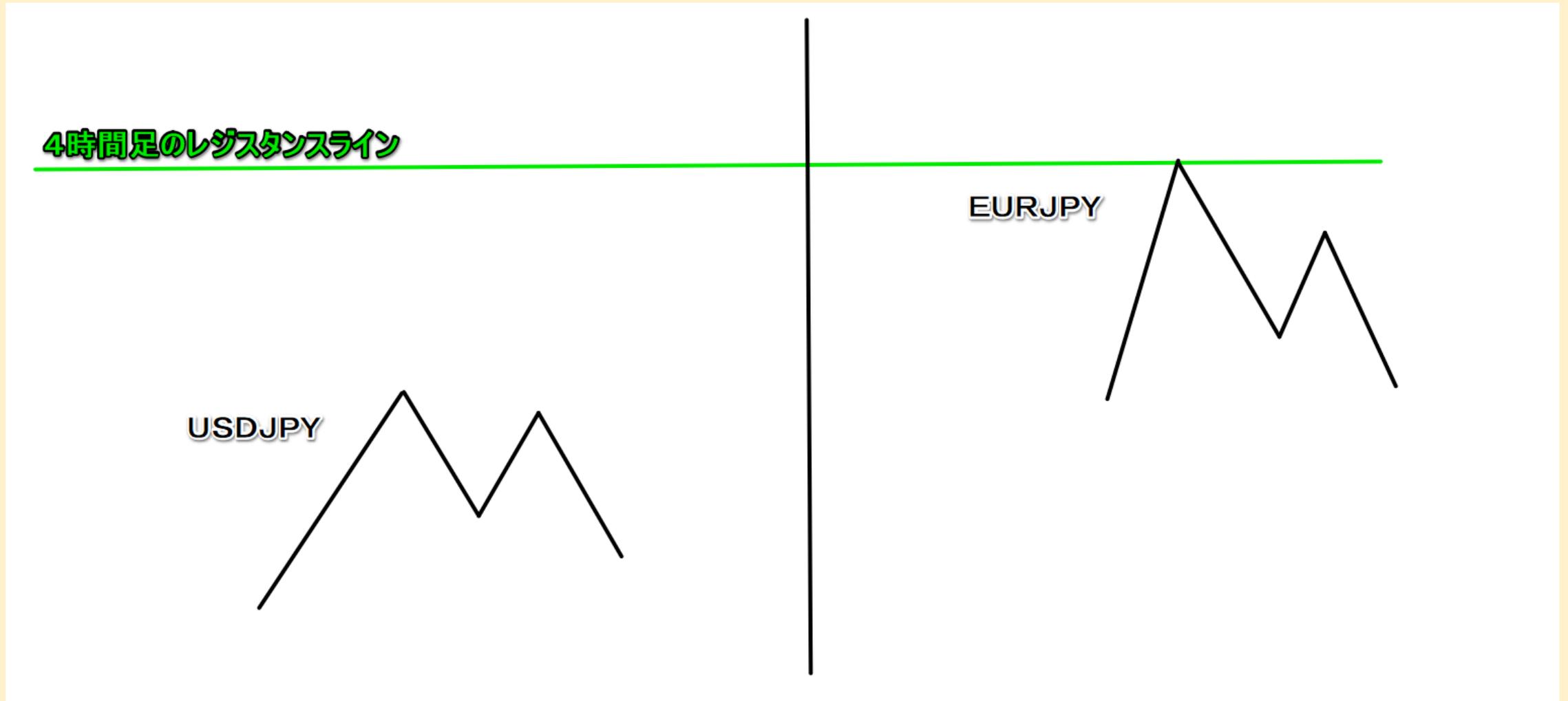
長期足の大きな節目ならGOOD!

環境認識とは

「長期の時間足がどういう状況なのか？」 が非常に重要

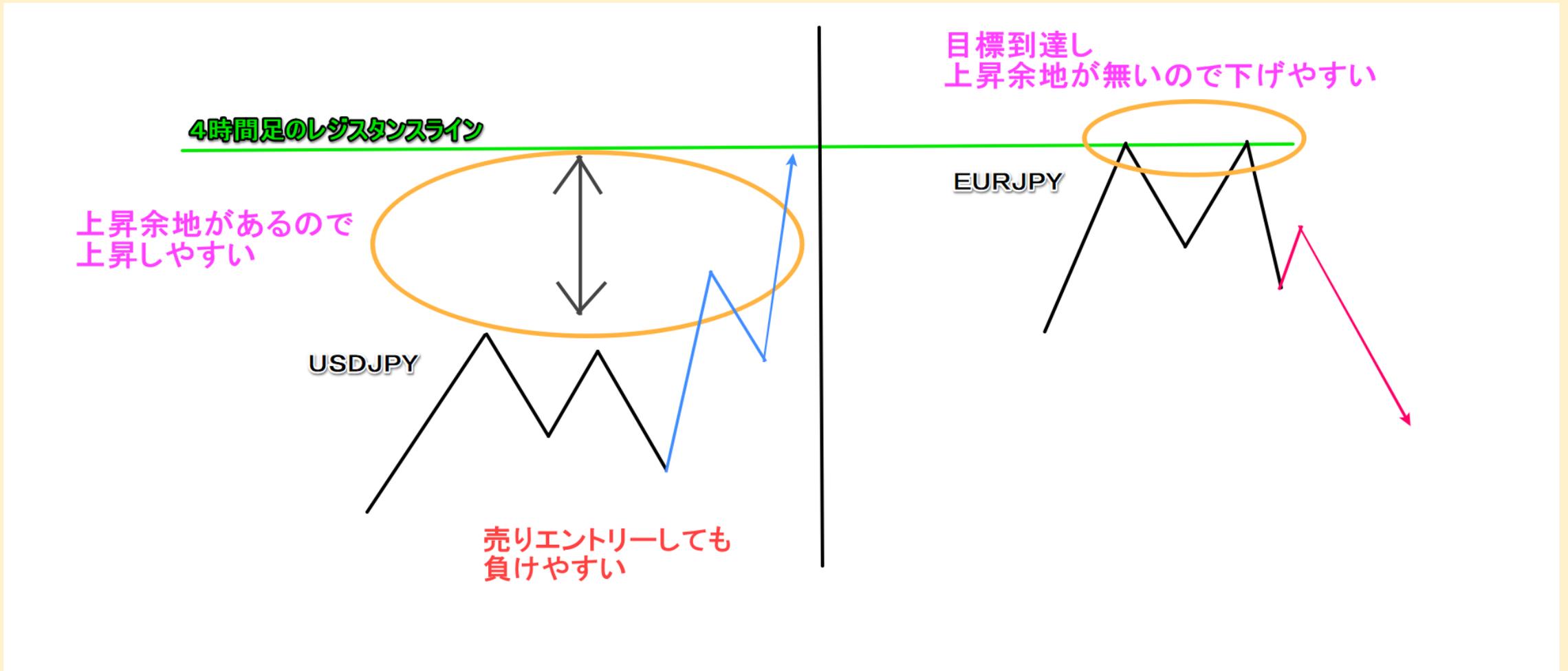
- ・相場というのは長期の時間軸の方が強い為
- ・短期足の値動きに翻弄されないようにする為

例) 同じダブルトップでも・・・



例) 同じダブルトップでも・・・

4時間足を見ると全然違う場所にある



必ず長い時間から見ていく必要がある

1時間足、5分足、1分足など
異なる時間足の波形を見ながら、それぞれの時間足が
干渉し合いながら値動きを作っていくのを感じてください。

また、その全てはつながっているのを理解してください。

意味のある流れ、意味のあるポイント

「長期のこの流れのこのポイントだから
このエントリーポイントが生きる」

環境認識とは

- ・あくまでも「環境」あってこそその手法

手法が先ではなく**環境が先**

手法が先ではなく環境が先とは？

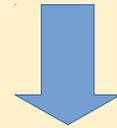
1. 長期足でトレンドや逆行するリスクを確認
2. 長期足を認識した上で上位足でエントリーできるポイントを探す
 - ・ライン上での押し目や戻り目
 - ・レンジの上限や下限 など
3. 2の付近で執行足でタイミングを計ってエントリー（より有利な箇所でのエントリーするため）
 - ・レンジブレイク
 - ・チャートパターン
 - ・プライスアクション
 - ・ダウ理論に基づく波形の完成
 - ・MAやボリンジャーバンドの反発ポイント など

環境認識とは

環境認識をしっかりとっておけば、かなり
優位性の高いポイントでエントリーが可能



OCOで十分利益を積み上げる事ができる



トレードに**束縛**されない

1 環境認識とは

2 どうやって環境認識をするのか

3 水平線による相場分析法（1）

4 テンドラインはどう使うのか

5 ボリンジャーバンドはどう使うのか

6 今日の課題

異なる時間足を使用(マルチタイムフレーム)

長期・中期・短期のそれぞれの環境を把握して
各時間軸の全てのタイミングが整った時に、
ようやくエントリー

どうやって
環境認識を
するか



どうやって
環境認識を
するか

マルチタイムフレームを利用し 優位性を積み重ねる

- **さまざまな時間軸での根拠がいくつも重なり合う為**
- それぞれの役割が違うので「より」精度が高くなる為
- 波が大きく延びる環境でトレード出来るようになる為

難易度別 エントリー方法

	難易度
順張り手法	☆
逆張り手法	☆☆
トレンド転換手法	☆☆☆

①トレンドフォロー > ②逆張り > ③トレンド転換
の順に狙いやすい
※個人差はあります

どうやって
環境認識を
するか

トレンドフォロー

トレンドフォローで一般的なもの

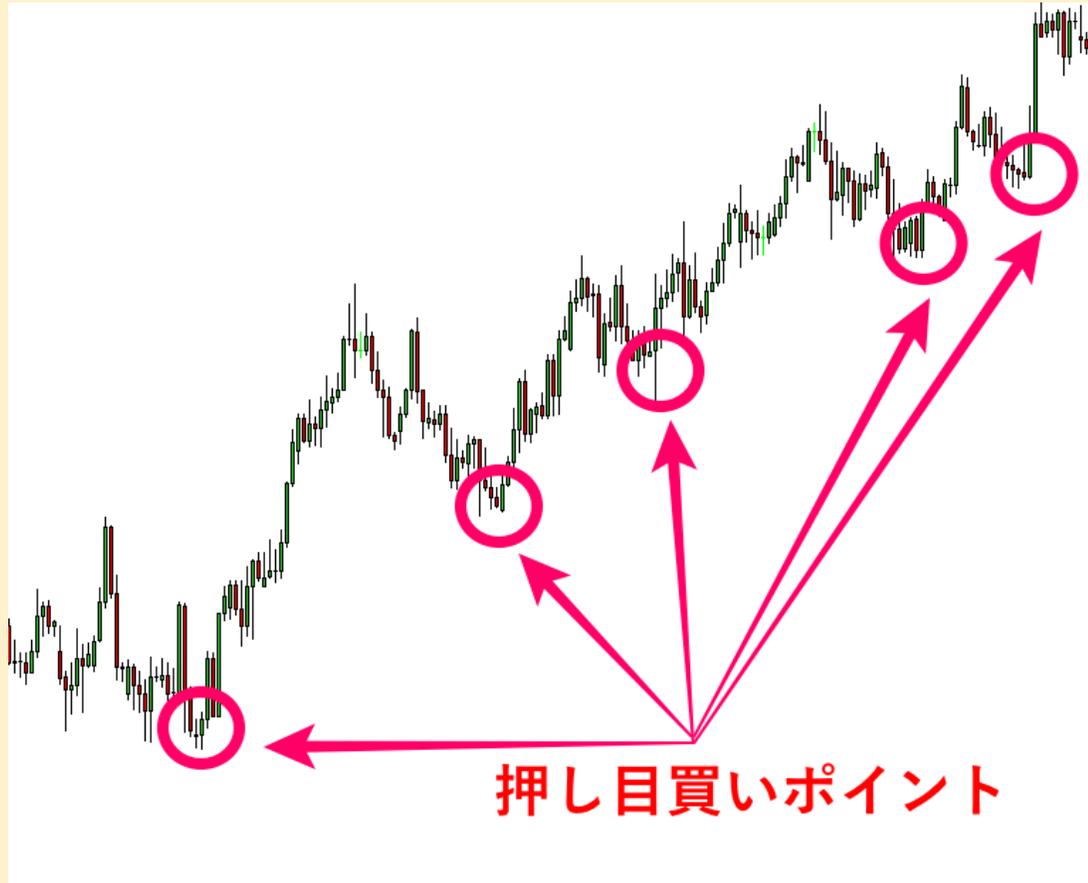
- 押し目買い（アップトレンド時）
- 戻り売り（ダウントレンド時）

アップトレンドの押し目買い



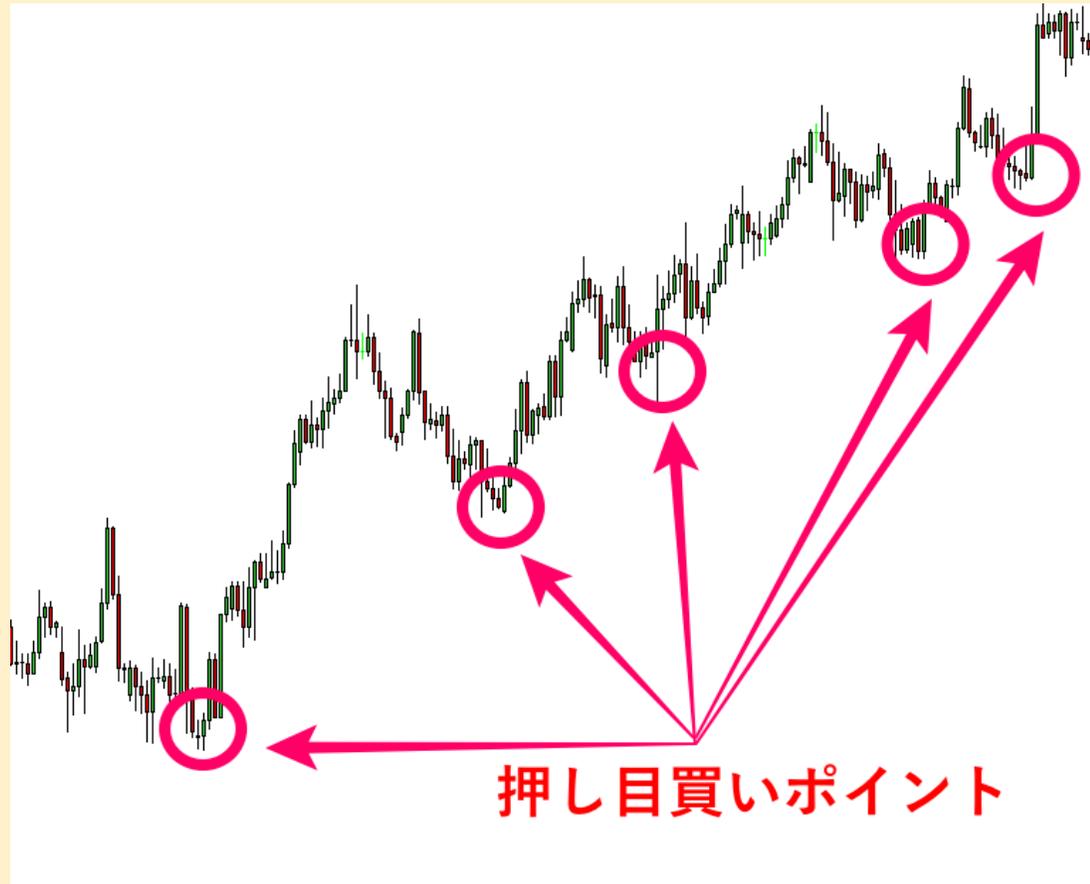
上のチャートは、ユーロドルの4時間足チャートですがよく見ると、レートが下落している場面があります。

アップトレンドの押し目買い



買いエントリーしてた人達がある程度水準まで到達したので利確し、同じようなポイントで新規売りが入ると下落。下がった所で水平線などがあり、「良い所まで落ちて来たから買ってみよう」という新規買い勢が出現して、結果的に一時的な売り圧力に勝つことで、アップトレンドが継続する。

アップトレンドの押し目買い



このような思考などから押し目買いポイントが出来上がる。
押し目買いポイントは損切位置が狭く、利確位置を広く取れるのでオススメのトレード方法。

アップトレンドの押し目買い

	利確	損切
勝敗	10	10
1回あたりの損益	¥2,500	¥1,000
損益	¥25,000	¥10,000

20トレード後の損益	¥15,000
-------------------	---------

押し目買いポイントでエントリーをして、損切位置が狭く利確位置を広く取れると、勝率50%だとしても、上の表のように、負ける時は小さく、勝つ時は大きく稼ぐことが出来るので、最終的にはお金が増えていきます。

どうやって
環境認識を
するか

異なる時間足(マルチタイムフレーム)

・主に3つの異なる時間軸を使って環境認識

①執行足…短期の環境

②上位足…中期の環境

③長期足…長期の環境

どの時間足が
重要なのか？

1 時間足以上の大きな時間足を重要視

1 時間足や 4 時間足、日足の大きな波を
執行足で取りに行くスタイル



続きは、

【トレ教2】フルバージョンでどうぞ。

【トレ教2】公式

<https://ayafx.site/lp>